

みぶりんだより

壬生町町民活動支援センター みぶりん 2026年9月号 Vol.145

開館日／火曜日～日曜日
開館時間／9時～17時
休館日／月曜日・祝日・年末年始

〒321-0217 壬生町通町12番22号
TEL 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732
E-mail miburin@herb.ocn.ne.jp
http://www.town-mibu.com/miburin/



募集・お知らせ

第17回 みぶりん 町民活動発表会の開催が決定しました

日 時▶10月25日(日) 10時～

※詳細は別途ご案内いたします

会 場▶壬生町城址公園ホール 中ホール

発表形態▶ステージ実演・展示発表・ワークショップ等

問 合 先▶町民活動支援センターみぶりん迄



小中学生の親子 募集

“みずべの寺子屋 in しののめ” 川と友だちになろう！

「川の日を国民の祝日にしよう会」では、“川の恵みを大切にしよう”を目的に黒川河川敷で小中学生の親子参加による水棲昆虫観察と釣り体験などを実施します。皆様の参加をお待ちしております。

日 時▶10月12日(月・祝) 10時～12時

会 場▶東雲ふれあい交流館及び黒川河川敷 ※集合場所：東雲ふれあい交流館 会議室

対象者▶中学生までの親子（家族も可）15組まで（定員になり次第終了）

申 込▶右記二次元コード(おすすめ!) または電話

☎0282-21-8731 みぶりん（午前9時～午後5時／月・祝休館）

問合先▶川の日を国民の祝日にしよう会 ☎090-7721-9026 早乙女

主 催▶川の日を国民の祝日にしよう会 共 催▶壬生町教育委員会



↑申込は
こちらから

参加費
無料

活動報告

「シェアの法則」上映会に参加してきました 7月5日(日)

みぶりん利用者協議会では、みぶりん講座として男女共同参画に着目し、壬生町生涯学習課が主催する映画「シェアの法則」の上映会に参加しました。男女に限らず人々が持つ様々な属性の違いの中で、相手の立場を尊重し、思いやることの大切さをあらためて知り、今後の活動に生かしていければと感じました。（みぶりん利用者協議会記）



アフタートーク

目次

- ②・隣近所で広げよう防災知識
・段ボール車で伝える安全確認の大切さ
・戦後の壬生町の変遷～飛行場跡地から、おもちゃ団地・医療の町へ～
- ③・夏休み囲碁教室
・至宝八坂祭
・地域がつながる踊りの輪 安コミ夏まつり
- ④・ハーモニカ演奏会
・サロン同士の交流で、もっとお達者に
・フラダンス実演



隣近所で広げよう防災知識 6月14日(日)



至宝町南自治会自主防災会は、壬生東小学校体育館で防災訓練を行いました。自治会会員及び関係者約70名が参加しました。

訓練では、大規模な地震が発生したという想定を基に避難誘導訓練や情報伝達訓練を行いました。また、壬生消防署の指導では、消火器訓練や煙道体験、AED訓練を行いました。NPO法人栃木県防災士のワークでは、レスキューチャレンジ、新聞紙スリッパ、ペットボトルランタンなどを行いました。炊き出し訓練では、蒸しパンを作り全員で試食しました。

災害発生時は、まず自分の身を守ることが重要になります。家庭では、家具などの転倒防止や災害備蓄品の準備、火災の防止が特に重要となります。そして自分の身が大丈夫でしたら隣近所の人と助け合うことが非常に大切であることが理解できました。（会長記）

段ボール車で伝える安全確認の大切さ 6月18日(木)

壬生町交通安全母の会では、毎年、交通教育指導員とともに小学校で交通教室を実施しています。

子どもたちが実際の交通場面をイメージしながら、より現実味のある内容になるよう、今回、段ボールで手作りした車両を活用し、横断する際の左右の確認だけで



なく、後ろから接近する車両にも注意を向けることの大切さと、交差点でのゆずりあいの心を伝えました。

子どもたちが交通ルールとマナーを正しく理解し、自ら安全を確保する意識を育むことができるよう、会員同士アイデアを出し合い、今後も継続して活動していきたいと思います。（事務局記）

〈令和8年度 壬生町立図書館歴史講座〉

戦後の壬生町の変遷 ～飛行場跡地から、おもちゃ団地・医療の町へ～ 7月1日(水)

壬生町立図書館は、壬生の郷土史研究家の鈴木良男さんを招き、「戦後の壬生町の変遷」をテーマに、歴史講座を開催しました。

戦前の陸軍航空学校の話、戦後当時トミー工業社長を務めた富山栄一郎氏による飛行場跡地開拓・おもちゃ団地（玩具工場団地）の誘致・東武宇都宮線「おもちゃのまち駅」の開設、実業家の関湊氏せきみなとによる獨協医科大学創設に関わる話など、その歴史と人物に焦点を合わせて、当時の資料・写真を交えながら戦後の壬生町についてお話していただきました。（みぶりん記）



募集定員を上回る50名が参加！

夏休み囲碁教室 7月21日(火)

壬生町文化協会囲碁部が稲葉小学校学童クラブ（ひまわりキッズクラブ）で、囲碁教室を開催しました。

クイズ形式による囲碁ルールの説明、囲碁部会員との対局を通じて、「礼にはじまり礼に終わる」という囲碁の精神やゲームとしての面白さを体験しました。

今後壬生町文化協会囲碁部では、町内小・中学校による「学校対抗囲碁大会」の開催を目標に、継続的に町内の学童クラブで順次、この囲碁教室を開催し、地域における囲碁の普及を図りたいと話していました。参加した子供たちからは、「面白かったので、続けてやってみたい」との声が寄せられました。
(みぶりん記)



至宝八坂祭 7月25日(土)

至宝町南自治会、至宝町南子供会育成会、至宝八坂祭実施委員会による至宝八坂祭が国谷駅前広場と駅前通りで行われ、子ども・保護者など約300名が参加しました。

至宝神社で午前8時30分から安全祈願を行った後、午後6時から子供神輿渡御が駅前通りで行われました。

子供たちの「ワッショイ！ワッショイ！」の元気な声で練り歩き、地域の住民や保護者の方々も一緒に歩きました。

また、広場では育成会によるイベントや消防団の消防車両展示、地域の企業のイベントも行われ、子供たちは夏休みを満喫していました。
(自治会長記)



地域がつながる踊りの輪 安コミ夏まつり 8月1日(土)



安塚地区コミュニティ推進協議会は、「安塚地区コミュニティ夏まつり」を開催しました。安一、安中、安二、安三、安南、虹の杜の6自治会と安塚五段囃子保存会、南犬飼中学校の生徒さんなどの協力で開催される恒例の夏まつりは、今年で40年を迎えることになりました。

小菅町長など、ご来賓の方々のごあいさつに続き、自治会毎に工夫を凝らした子供神輿や、フラダンス&よさこい踊りなどが披露され会場が盛り上がると、フィナーレでは、かんぴょう音頭の踊りの輪で地域が一つにつながりました。
(みぶりん記)

ハーモニカ演奏会 6月17日(水)

エンジョイハーモニカ壬生は、町内の福祉施設にてハーモニカ演奏会を行いました。今回、デビュー公演となった、新入会員の永沼彰さん(92歳)によると「本格的にハーモニカに取り組むのは初めてですが、チームの皆さんにとっても親切に接していただき、楽しく練習ができています。」また、ご自身のチャレンジについて「これから何かを始めたいと思っている人の助けになれば幸いです」と元気にお話しされていました。(みぶりん記)



サロン同士の交流で、もっとお達者に 7月22日(水)

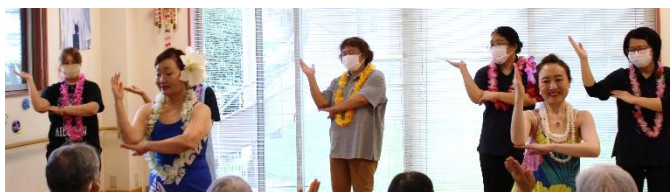
六美町北部地区お達者サロン「むつみの郷」は、北小林お達者ファミリーの大垣孝さんを招いて、健康体操を実施しました。新聞紙棒や硬式テニス球を使った体操はサロンだけでなく、自宅でもできる体操や参加者の大きな笑い声で盛り上がった、じゃんけんの勝ち負けで、おもちゃの1万円紙幣をとりあう大金持ちゲーム等、いずれも北小林お達者ファミリーで人気の活動でした。(みぶりん記)



フラダンス実演 7月24日(金)

マウイスタジオ・レファ・リコは、町内の福祉施設にて、3チーム総勢約20名にて、全13曲のフラダンスを披露しました。

参加者は見るだけではなく、その場で振り付けレッスンを受けると、フラダンスを楽しんでダンスから元気をもらいました。(みぶりん記)



「みぶりんだより」は下記に常設しています

みぶりん・壬生町役場・各出張所・コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・歴史民俗資料館・体育館・おもちゃ博物館・
嘉陽が丘ふれあい広場・ふれあい交流館・保健福祉センター・シルバー人材センター・自成館・各小中学校・壬生高校

編集後記

★1年で最も美しい月が見られる十五夜、今年は9月25日だそうです。秋の夜長にゆったり月でも眺めてリフレッシュしましょう(みず) ★9月1日は「防災の日」。この機会に飲み水や非常食、防災用品の確認をしてみようと思います。日頃の小さな備えが、もしもの時の安心につながりますね。(おだ) ★秋の味覚が楽しみな季節になってきましたね。さつまいもやサンマなど、食卓に少し旬を添えるだけで、心がふっとなごみます。(わた) ★今日から9月に入り、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあります。無理のないペースで仕事に向き合いたいと思います。今日もひとつひとつ丁寧に進めて、良い1日にしていきましょう。(みな)